

プレイセラピーの基礎と実践

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2019年6月29日(土)・30日(日)

受講対象:心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、およびご興味のある方

定 員:80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 ☎03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付します

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

★★★★★ ご企画・講義 ★★★★★ 学習院大学文学部 教授 川寄 克哲 先生

遊戯療法は心理的な問題をもつ子どもへの代表的な治療法です。そこでは「遊び」を通して治療がおこなわれます。これはなにも子どもが言葉を使うのが苦手なので、その代わりに遊びを用いるわけではありません(一般に子どもはよくお話しします)。「遊び」そのものが治癒の力をもっているのであり、この遊びの治癒力を最大限に活かそうとするのが遊戯療法です。

もちろん、そのような治癒力をもつ「遊び」は普通の遊びとは異なっています(いや、本当はそれこそが真の遊びであり、普段我々が遊びだと思っているものは仕事や義務のようなものになっていると言えるかもしれませんが)。そのような治療的な意味をもった「遊び」とはどのようなもので、また、どうすれば生じてくるのでしょうか? はたまた、そこに治療者はどのように関わればいいのでしょうか?

本講座では、具体的な事例を参照しつつ、遊戯療法における「遊び」とはどのようなもので、いかなる意味を持ち、どのようにすれば治療的な力をもつ遊びが展開していくのかを解説・検討していきたいと思えます。心理療法の現場で子どもに関わっておられる方のみならず、教育現場や福祉施設などで子どもに接しておられる方々にとっても意味のある講座になればと思っています。 【川寄 克哲】

※プログラム・時間について…2日間とも開始・終了時間以外は一応の目安で、適宜変更いたします。

	日程	時間	テーマ
プ ロ グ ラ ム	6 月 29 日 (土)	13:00~14:20	1)「遊び」の治療的意味と意義(1) —自由な空間において生じること—
		14:30~15:50	2)「遊び」の治療的意味と意義(2) —制限された「枠」の中で生じること—
		16:00~17:00	3)遊び(イメージ)の展開とそれに対する治療者のコミット
6 月 30 日 (日)		10:30~12:00	4)むずかしい子ども、「問題」児の遊戯方法
		昼 食 (各自おとりください)	
		13:00~14:20	5)親面接の意義・意味と留意点
		14:30~16:00	6)まとめ —遊戯療法の具体的な事例を通して—

●受講生の方からの事例を募集いたします!

本講座の「遊戯療法の具体的な事例を通して」で検討してほしい事例をお持ちの方は、是非ご提供ください。

申込書の「事例提出希望欄」に○印をつけ、日中連絡が可能な方法を必ずご記入のうえ、お申込みください。

事務局から提出方法をご連絡いたします。なお、時間的制約等で採用されない場合もありますので、予めご了承ください。